

<b>グリホサートイソプロピルアミン塩液剤</b> <b>草枯らし MIC</b>	<b>取扱メーカー：</b> 三井アグロ  <b>原体メーカー：</b> 三井アグロ
<b>成分：</b> グリホサートイソプロピルアミン塩〔アミノ酸系〕…41.0%	<b>性状：</b> 淡黄色澄清水溶性液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】 .....

- 非選択性、吸収移行型の茎葉処理除草剤である。
- 雑草の生育旺盛期の茎葉処理で一年生から多年生雑草、かん木類まで幅広い雑草を枯らす。
- 土壌表面に落下すると、速やかに土壌粒子に強く吸着されて不活性化し、植物への活性が消失する。また、土壌中の微生物により、水、炭酸ガス、リン酸、アミノ酸など無害な物質に分解され、有用植物の根部吸収害を生じる心配がなく、永年の連年使用による土壌中での蓄積の心配もない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】 .....

- 散布適期は雑草が生え揃った生育盛期～生育旺盛期である。
- 薬液が茎葉全体にかかるように散布する。
- 土壌中で速やかに不活性化するので雑草発生の散布では効果がない。
- 草丈や茎葉面積が大きい程、効果が確実となる。散布前に地上部を刈り払わない。
- 通常2～14日で効果が発現し、効果完成にはさらに数日を要するので、誤って再散布しない。
- 少量散布の場合は、少量散布用ノズルを用いて、雑草の葉面に均一に散布する。
- 処理後6時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候を見極めてから散布する。
- 希釈に使う水にはきれいな水を使用し泥などで濁った水は使わない。
- 展着剤加用の必要はない。
- スギナには生育期を過ぎた時期での散布及び他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣ることがあるので、適期にスギナにかかるように散布する。

- 一年生の雑草(100倍)、多年生雑草、ササ類(50倍)、スギナ(25倍)の液を調整して散布すると処理しやすい。

- グリホサートを含む農薬であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物毎の総使用回数の範囲内で使用する。

### 【薬効・薬害等の注意】 .....

- 特に野菜類の生育期畦間散布に使用する場合には作物にかからないように十分注意する。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。
- 調製及び保管に際しては合成樹脂の内装のない鋼鉄製（ステンレスを除く）の容器類は使用しない。なお、散布液を調製した容器及び散布器具は使用後十分に水洗いする。
- 適用作物（全般）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（登録外農作物、有用作物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 水田への飛散、流入などにより水稻に薬害を生ずるので、十分注意する。
- 出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると薬害を生じるおそれがあるので、必ず出芽前に散布する。
- 注入処理の場合
  - クズには株頭にナタなどで傷をつけ、薬液がよくしみ込むように注入処理する。
  - 落葉雑かん木には、樹幹の回りに等間隔にナタ目を入れ、薬液を注入処理する。
  - 処理竹から15m以内に発生したたけのこを食用に供さない。また縄囲いや立て札によりたけのこが採取されないようにする。
- 雑かん木に塗布処理を行う場合は、伐採後、直ちに切り口全面に直接塗布する。

- 土壌が流亡したり、くずれたりするおそれのある所では使用しない。
- 共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。

## 【安全対策上の注意】 .....

- 魚類に影響を及ぼすおそれがあるので、養殖池等周辺での使用はさける。また、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

- 散布後は水管理に注意する。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないように注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。



## 【適用と使用法】 .....

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
果 樹 類 (かんきつ、パイナップルを除く)	—	一年生雑草	収穫 7 日前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	250～ 500 ml		3 回 以 内	雑草茎葉 散布	3 回以内	
かんきつ		多年生雑草		500～ 1000 ml				5 回以内	
		一年生雑草		250～ 500 ml					
		多年生雑草		500～ 1000 ml					
豆 類 (種実、但し、だいず、らっかせいを除く)		一年生雑草	は種 7 日前まで (雑草生育期)	250～ 500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	2 回 以 内		2 回以内	
だ い ず								は種後出芽前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	4 回以内
								畦間処理：雑草 生育期 (草丈 30 cm 以下) 但し、収穫前日 まで	
えだまめ								は種 7 日前まで (雑草生育期)	
小 麦		多年生 イネ科雑草	耕起前又は は種前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	250～ 1000 ml	25～100 ℓ	3 回 以 内			
		一年生雑草	は種後出芽前 (雑草生育期)	250～ 500 ml					
			多年生雑草	耕起 7 日前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	500～ 1000 ml	100 ℓ		1 回	
		圃場内の 周縁部	一年生雑草	収穫 7 日前まで (雑草生育期)	250 ml	25～100 ℓ		3 回 以 内	
耕起 7 日前まで (雑草生育期)	250～ 500 ml			100 ℓ	1 回				
麦 類 (小麦を除く)		は種後出芽前 (雑草生育期)		25～100 ℓ					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む				
				薬量	希釈水量			農薬の総使用回数				
かんしょ	—	一年生雑草	耕起又は挿苗 7日前まで (雑草生育期)	250～ 500 ml	100 ℓ	1 回	雑草茎葉 散布	2回以内				
だいこん			耕起又はは種 7日前まで (雑草生育期)					1 回	2回以内			
はつかだいこん			耕起又は定植 7日前まで (雑草生育期)					通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ	1 回	10回以内 (1年間に 2回以内)		
キャベツ										定植後畦間処理 但し、収穫30 日前まで (雑草生育期)	3回 以内	3回以内
とうがらし類												
にんじん			3回以内									
ピーマン					3回以内							
薬用にんじん						3回以内						
ね ぎ								3回以内				
たまねぎ									3回以内			
アスパラガス	3回以内											
オリーブ (葉)		3回以内										
きゅうり			3回以内									
しゃくやく (薬用)				3回以内								
たらのぎ					3回以内							
ト マ ト	3回以内											
な す		3回以内										
びわ (葉)			3回以内									
ほうれんそう				3回以内								
レ タ ス					3回以内							
野 菜 類	3回以内											
(えだまめ、		3回以内										
キャベツ、			3回以内									
はつかだいこん、				3回以内								
だいこん、					3回以内							
とうがらし類、	3回以内											
にんじん、		3回以内										
ピーマン、			3回以内									
ねぎ、				3回以内								
たまねぎ、					3回以内							
アスパラガス、	3回以内											
オリーブ (葉)、		3回以内										
きゅうり、			3回以内									
しゃくやく (薬用)、				3回以内								
たらのぎ、					3回以内							
トマト、なす、	3回以内											
びわ (葉)、		3回以内										
ほうれんそう、			3回以内									
レタス、				3回以内								
薬用にんじん					3回以内							
を除く)	3回以内											
水田作物		耕起20～10日前				100 ℓ	2回以内					
(水稲を除く)		(雑草生育期)										

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数		
				薬量	希釈水量					
移植水稻	—	一年生雑草	耕起20～10日前 (雑草生育期)	250～ 500 ml	100 ℓ	1 回	雑草茎葉 散布	2回以内		
		多年生雑草	湛水前30～5日前 (雑草生育期) (不耕起栽培)	500～ 1000 ml	50 ℓ					
一年生雑草			耕起20～10日前 (雑草生育期)	250～ 500 ml	100 ℓ	2 回 以内				
		多年生雑草	耕起直後～出芽前 (雑草生育期) (乾田耕起栽培)	250～ 1000 ml	25～ 50 ℓ					
一年生雑草			は種30日前～出芽前 (雑草生育期)	250～ 1000 ml	25～ 50 ℓ					
多年生雑草		(乾田不耕起栽培)	500 ml	50 ℓ						
水田作物 (水田刈跡)	水田刈跡	一年生雑草	雑草生育期	250～ 500 ml	25～ 100 ℓ	1 回		雑草茎葉 散布	1 回	
		多年生雑草		500～ 1000 ml						
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	250～ 500 ml	通常散布 100 ℓ	2 回 以内	雑草茎葉 散布		3回以内	
		多年生雑草		500～ 1000 ml	少量散布 25 ℓ					
水田作物 畑作物 (休耕田)	休耕田	一年生雑草	雑草生育期 (草丈50 cm以下)	250～ 500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布	1 回			雑草茎葉 散布	6回以内
さとうきび (春植え)	—	多年生雑草	耕起10日前まで (雑草生育期)	500～ 1000 ml	25～50 ℓ					
		茶	一年生雑草	摘採7日前まで (雑草生育期)	250～ 500 ml	少量散布 25～50 ℓ				2 回 以内
牧 草	牧野, 草地 (更新・造成)	多年生雑草	更新・造成の 10 日前まで (雑草生育期)	500～ 1000 ml	50 ℓ					
		一年生及び 多年生雑草	は種10日前～ は種当日 (耕起整地後： 雑草発生前期)	250～ 500 ml	少量散布 25～50 ℓ	4 回 以内		4回以内		
樹 木 類	—	一年生雑草	雑草生育期	500 ml	通常散布 50～100 ℓ 少量散布 25～50 ℓ					3 回 以内
樹 木 等	公園, 庭園, 堤とう, 駐車場, 道路, 運動場, 宅地, のり面, 鉄道等	多年生雑草		1000 ml	通常散布 100 ℓ 少量散布 25 ℓ					
		スギナ	生育盛期	2000 ml	少量散布 25～50 ℓ					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
林 木	造林地 (地ごしらえ)	ススキ、ササ類、クズ等の多年生雑草、落葉雑草かん木	生育盛期以降	1000 ml	20～30 ℓ	3回以内	雑草木茎葉散布	3回以内

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	希釈倍率	使用液量	本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数
林 木	林地	クズ	春期又は秋期	原液又は2倍液	1～2 ml／株	—	株頭注入処理	—
		落葉雑草かん木	5～10月		1 ml／カ所 樹径 カ所数 10 cm以下 2～3 10～20 cm 4～8 20 cm以上 10		立木注入処理	
畑作物	林地、放置竹林、畑地	竹類	夏～秋期	原液	5～15 ml／本		竹稈注入処理	
樹木等	公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等	落葉雑草かん木	5～10月	原液又は2倍液	1 ml／カ所 樹径 カ所数 10 cm以下 2～3 10～20 cm 4～8 20 cm以上 10		立木注入処理	
		雑草かん木	伐採直後		切り口全体に十分量を塗布		植栽地を除く樹木等の周辺地に切株塗布処理	